

文教の森四季彩園周辺で

オオキンケイギク駆除に汗

5月27日にオオキンケイギクの駆除作業が、文教の森四季彩園周辺で行われました。この取り組みは、平成23年から、西部総合事務所生活環境局の主催で行われ、大山町では平成26年の仁王堂公園に続き2回目です。

今年も、中山グラウンドゴルフ協会や地元の女性グループ、中山みどりの森保育園の園児などがボランティアで参加し、総勢63名で作業を行い

ました。1時間ほどの作業できれいに駆除することができました。

※オオキンケイギクは、アメリカ中部、南東部原産のキク科の植物で、繁殖力が非常に強く、在来種への影響が危惧されることから特定外来生物に指定されています。



▶ぞう組（年長児）の園児たち



▶暑い中での作業

夏山開き祭を体験

6月3日から5日にかけて韓国襄陽郡の副郡主や副議長など5名の訪問団が来町されました。



▶役場本庁を訪問

初日は、役場本庁を表敬訪問した後、町立図書館本館、名和さくらの丘保育園を視察。園児から「アンニョンハセヨ（こんにちは）」と出迎えるを受け感激されていました。

2日目は、大山町日韓親善

襄陽郡から訪問団

交流協会主催の交流会に出席し、たくさんの方と交流を深められました。夜は「夏山開き祭前夜祭」にも出席。大神山神社奥宮から博労座特設会場までのたいまつ行列に参加されました。

大山町と襄陽郡は平成16年に友好親善交流協定を締結しており、今後も友情の輪が広がる交流を続けていきます。

ふれあいに参加者増える

マラニック

6月5日に唐王神社を発着地として、古事記ゆかりの神社を巡り往復50kmのマラソンを楽しむマラニック（マラソン&ピクニック）が行われました。

参加者は、年々増え続け、9回目の今年は200人が集結。小さな唐王神社に選手が溢れました。

このイベントの特色は、地元唐王自治会総出の会場運

営。子どもたちもおじいさん、おばあさんと一緒になって、選手に声援とおもてなし。御守「毒虫除けの砂」を手渡したり、ぜんざいなどを振るまったりしました。素朴なふれあい”が参加者に人気となつています。

観光協会大山支部のみなさんも早朝から駆けつけ、惜しまずの協力でした。



▶出発前の全員集合